



2024年5月14日

各位

社名 株式会社アルメディオ
代表者 代表取締役社長 高橋 靖
(コード番号 7859 スタダード市場)
問合せ先 取締役
(経理・情報開示・IR担当)
関 清 美
電話番号 042-511-0500 (代表)

中期経営計画 2024 の実施について

この度、当社は、直近の経済状況および事業環境の変化に対応するべく中期経営計画（2025年3月期（第45期）から2027年3月期（第47期））をローリングし、「中期経営計画 2024」として実施しますので、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 計画実施の成果

当社は、2023年5月12日発表の「中期経営計画 2023」に基づき施策を実施することで、事業構造改革のスピードを上げ、機能性材料メーカーへの転換を図るべく、ナノマテリアル事業の成長スピードアップ、断熱材事業の更なる成長に取り組んでまいりました。

ナノマテリアル事業は、有償サンプル品の販売を行い、スケールアップテストを行う顧客もあったこと等により、サンプル出荷件数及び出荷量が増加しました。また、塗料関係や放熱材関係、電池関係の引き合いが増加し、最終段階の評価を実施している材料メーカーや、エンドユーザーでの評価が進んでいる案件があります。さらに、新製品の高導電用カーボンナノファイバーを上市し、製品ラインナップの拡充を図っております。なお、福島双葉工場において、品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001」の認証を取得しました。

断熱材事業は、国内において、大手鉄鋼メーカーからの定期受注を獲得しました。連結子会社である阿爾賽(蘇州)無機材料有限公司において、各社再生可能エネルギー発電に積極的な設備投資を行っている中国で、太陽光発電関連産業の設備投資状況やニーズをいち早く掴み、受注に対応できる生産体制を早期に整えたことと、技術力の高さから他社より製品品質が良いことで、太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュールの受注が急激に伸長し、売上高・営業利益共に大きく寄与しました。なお、拡大した受注に対する生産体制整備および増加した従業員の労働環境改善等を目的として、2023年10月に子会社・阿爾美(蘇州)科技有限公司を設立いたしました。

この太陽電池関連の受注拡大を受け、2024年3月期通期連結業績予想及び中期経営計画 2023の計画目標の見直しを行い、2023年11月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」、「中期経営計画 2023の計画目標修正に関するお知らせ」、さらに、2024年2月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2度にわたり業績の上方修正をいたしました。

その結果、過去最高益を更新し、2026年3月期の目標としていた営業利益率18%を2年前倒しで達成いたしました。

2. 計画の見直しおよび方針について

各事業計画の進捗を評価・修正し、ナノマテリアル事業の成長と、断熱材事業の更なる成長を糧に、事業構造改革のスピードを上げ、機能性材料メーカーへの転換を図ってまいります。

3. 中期経営計画の骨子

事業ポートフォリオの最適化を図り、事業構造を転換します。

2027年3月期（第47期）に、安定して連結営業利益率18%を維持する企業を目指します。

4. 具体的施策

- (1) ナノマテリアル事業の成長スピードアップ
- (2) 断熱材事業の更なる成長
- (3) M&Aの推進
- (4) 人材の確保
- (5) 新規分野への参入

5. 中期経営計画主要数値

(1) 経営計画（連結）

（単位：百万円）

	2025年3月期(第45期)	2026年3月期(第46期)	2027年3月期(第47期)
売上高	7,197 (※23.3%増)	7,912 (※18.5%増)	8,858
営業利益	1,184 (※25.2%増)	1,442 (※15.5%増)	1,682
営業利益率	16.5% (※0.3%増)	18.2% (※0.5%減)	19.0%

※2023年5月12日開示「中期経営計画2023」の計画値との対増減率

(2) 事業別売上計画（連結）

（単位：百万円）

	2025年3月期(第45期)	2026年3月期(第46期)	2027年3月期(第47期)
断熱材	6,493	7,546	8,248
ナノマテリアル	164	366	610
アーカイブ	539	-	-
合計	7,197	7,912	8,858

(3) 事業別構成比率（連結）

	2025年3月期(第45期)	2026年3月期(第46期)	2027年3月期(第47期)
断熱材	90.2%	95.4%	93.1%
ナノマテリアル	2.3%	4.6%	6.9%
アーカイブ	7.5%	-	-

政策として再生可能エネルギー発電に積極的な姿勢をとっている中国において、各社の初期投資が一旦落ち着くと見込んでおりますが、ヒーターモジュールは消耗品のため、各社のニーズをいち早く掴み受注に対応、高品質な製品で信頼を得たことから、2025年3月期（第45期）後半からは購入した顧客からのリピートオーダーが入ることを予想しております。また、遅れて参入した会社との価格競争が起こることや設備投資が先行することも想定し、第44期と比較して売上高・利益共に減少いたしますが、S i O等の新製品の投入により、第46期以降は売上高が増加すると見込んでおります。

その他詳細については、当社ホームページ掲載の「中期経営計画2024」をご参照ください。

<https://www.almedio.co.jp/cp/plan/>

以上